

第三十三
王
聖徒伝 249

偽りと滅び 悔い改めと救い

エレミヤ書 28章

偽預言者ハナンヤの罪と罰

アウトライン

0. イントロダクション

I. 偽預言者ハナンヤ 1～11

II. ハナンヤの死 12～17

III. 偽預言者の末路

IV. まとめと適用

聖霊の助けによって歩む

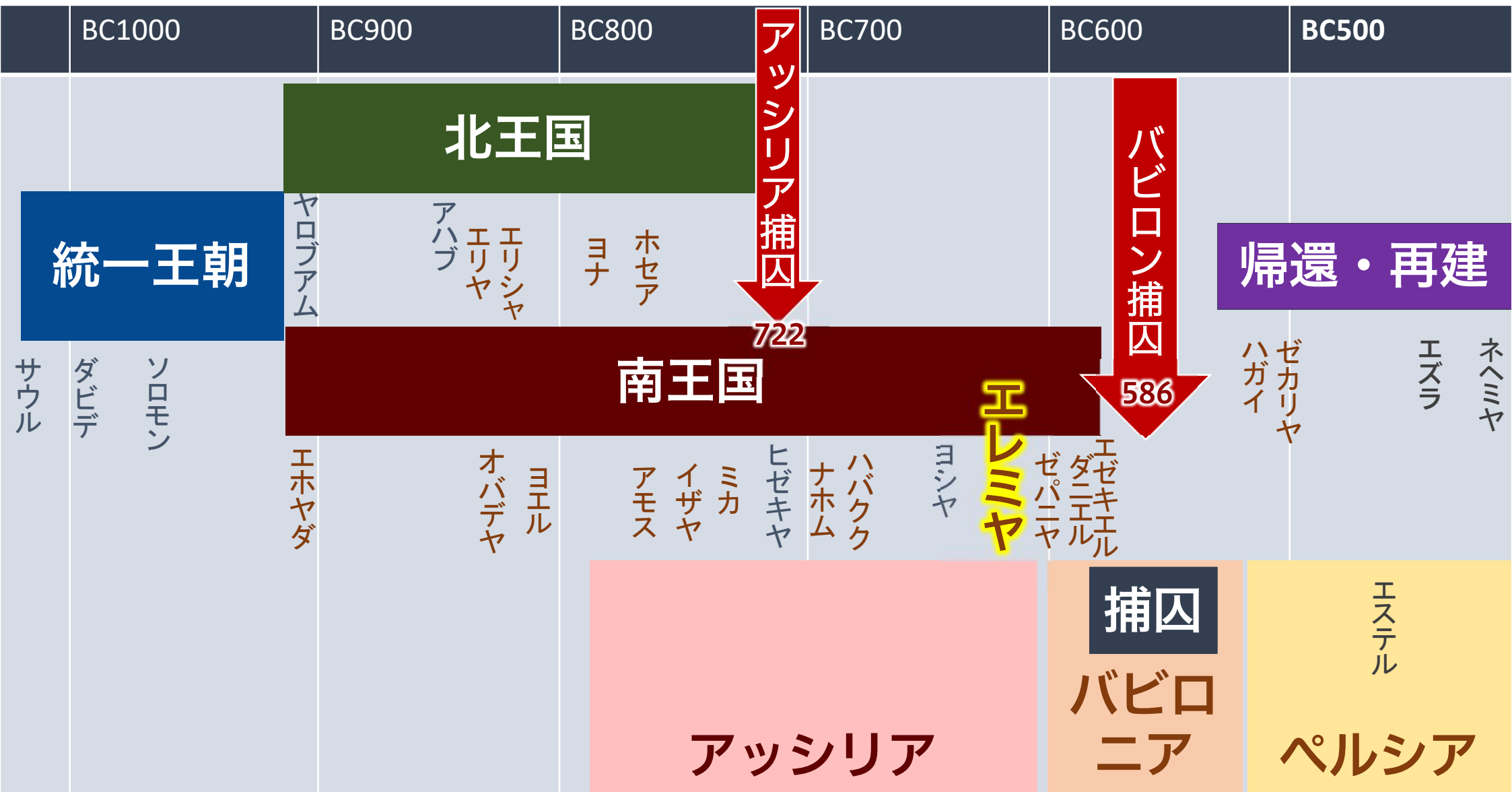
信仰の道



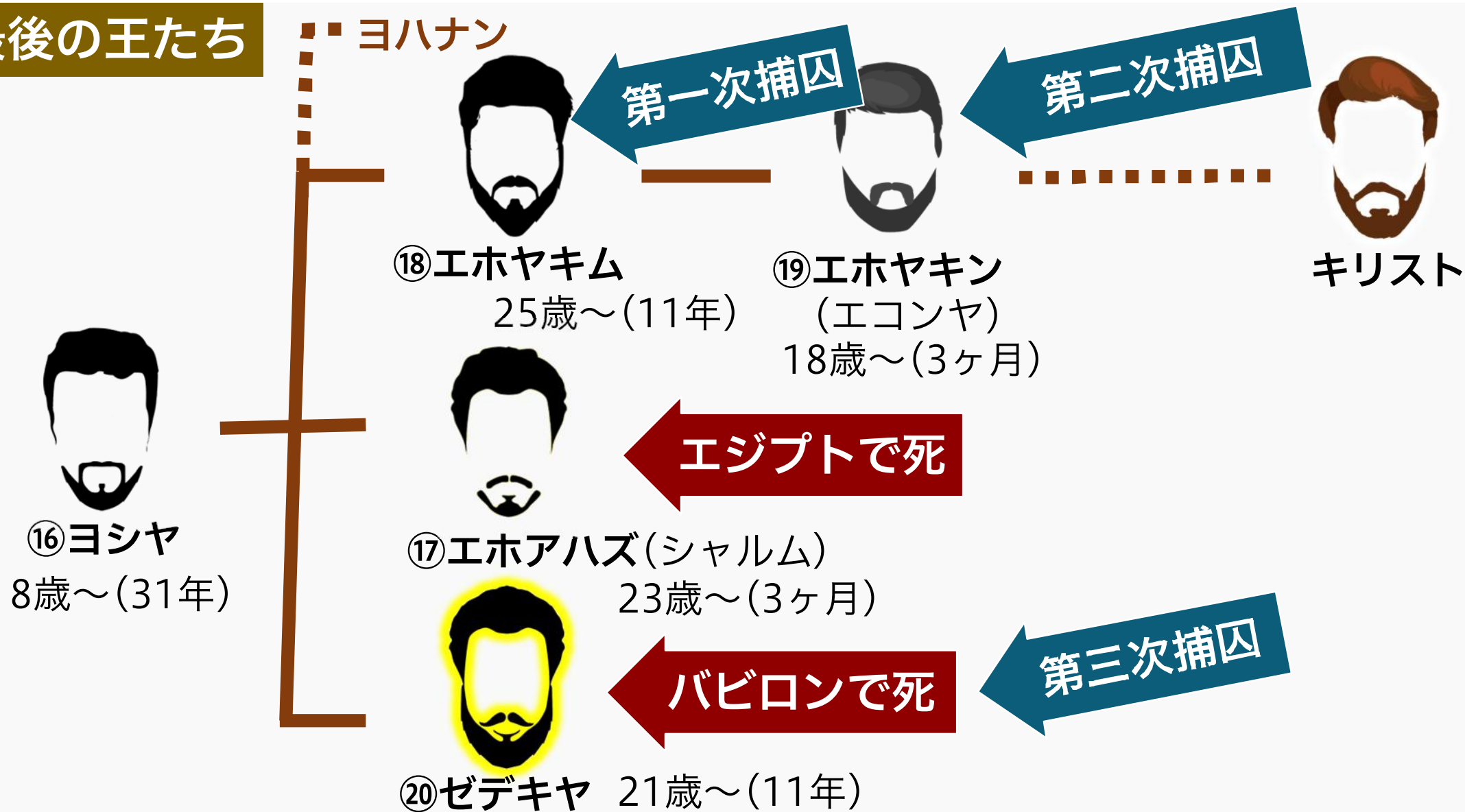


0. イントロダクション

イスラエル王国史



最後の王たち



前回27章のおさらい

- 首にかせを付け、虜囚の身で預言した、エレミヤ。
➡ バビロニアの支配に甘んじる者に主の憐れみが!!

- ① イスラエル周辺諸国の王に告げ
- ② イスラエル最後のゼデキヤ王に告げた

- 主の懲らしめを拒絶 ➡ 剣と飢饉と疫病によって滅ぶ

神の預言に従うか

偽預言に従うか



I. 偽預言者ハナンヤ

エレミヤ書28章1～11節

エフライムの山地

偽預言

ハナンヤ エレ28:1

その同じ年、ユダの王ゼデキヤの治世の初め、
第四年の第五の月*に、ギブオン出身の預言者、
アズル*の子ハナンヤ*が、【主】の宮で、祭
司たちと民全体の前で、私に語って言った。

*最終的な捕囚は、第11年。包囲が第10年。

*ベニヤミン族の町。元々のギブオン人は、
遠方の民と偽ってイスラエルと和睦。

*“助ける者”

*“神が恵みを与えた”



サマリア

偽預言

ハナンヤの偽預言 エレ28:2～4

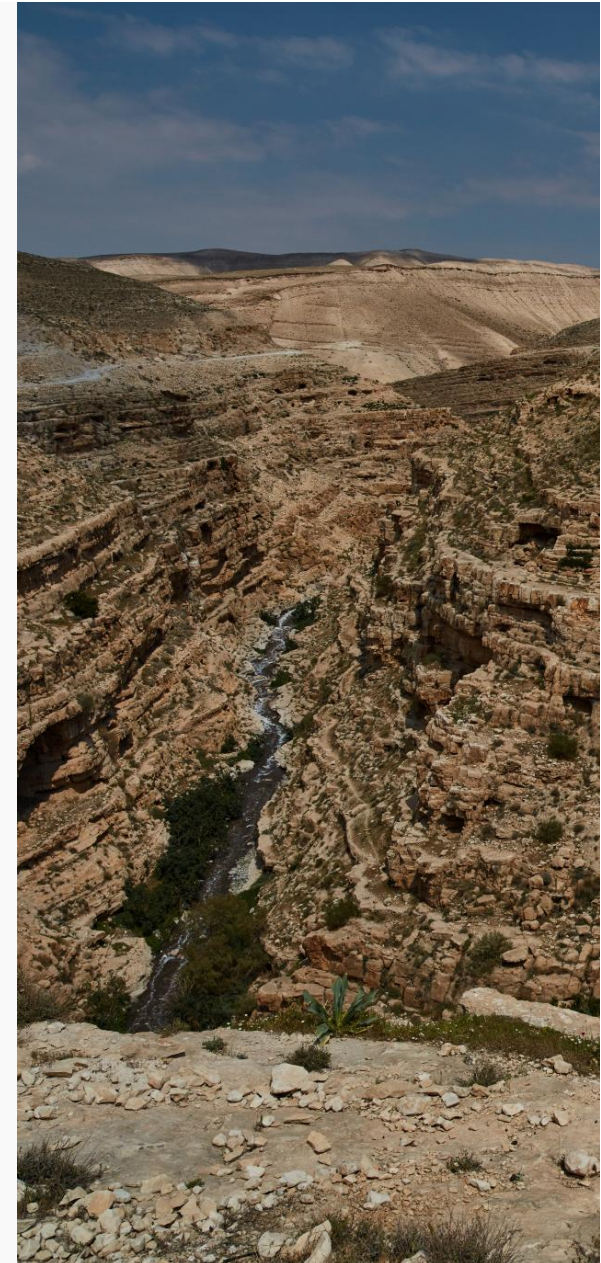
「イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。わたしは、バビロンの王のくびきを砕く。

二年のうちに*、わたしは、バビロンの王ネブカドネツアルがこの場所から奪い取ってバビロンに運んだ【主】の宮のすべての器をこの場所に戻す。

バビロンに行ったユダの王、エホヤキムの子エコンヤと、ユダのすべての捕囚の民も、わたしはこの場所に帰らせる——【主】のことば——。わたしがバビロンの王のくびきを砕くからだ。」

*主の預言では、70年後(エレミヤ25:12他)。

…エコンヤ王も民の多くも捕囚の地で死ぬ。



御告げ

エレミヤの反応 エレ28:5～6

そこで預言者エレミヤは、【主】の宮に立っている祭司たちや民全体の前で、預言者ハナンヤに言った。

預言者エレミヤは言った。「アーメン。そのとおりに【主】がしてくださるように。あなたが預言したことばを【主】が成就させ、【主】の宮の器と、すべての捕囚の民をバビロンからこの場所に戻してくださるように」

■ “あなたの言うとおりになればよいね。”

➡ 皮肉を込めたエレミヤの応答



御告げ

平和の偽預言者 エレ28:7～9

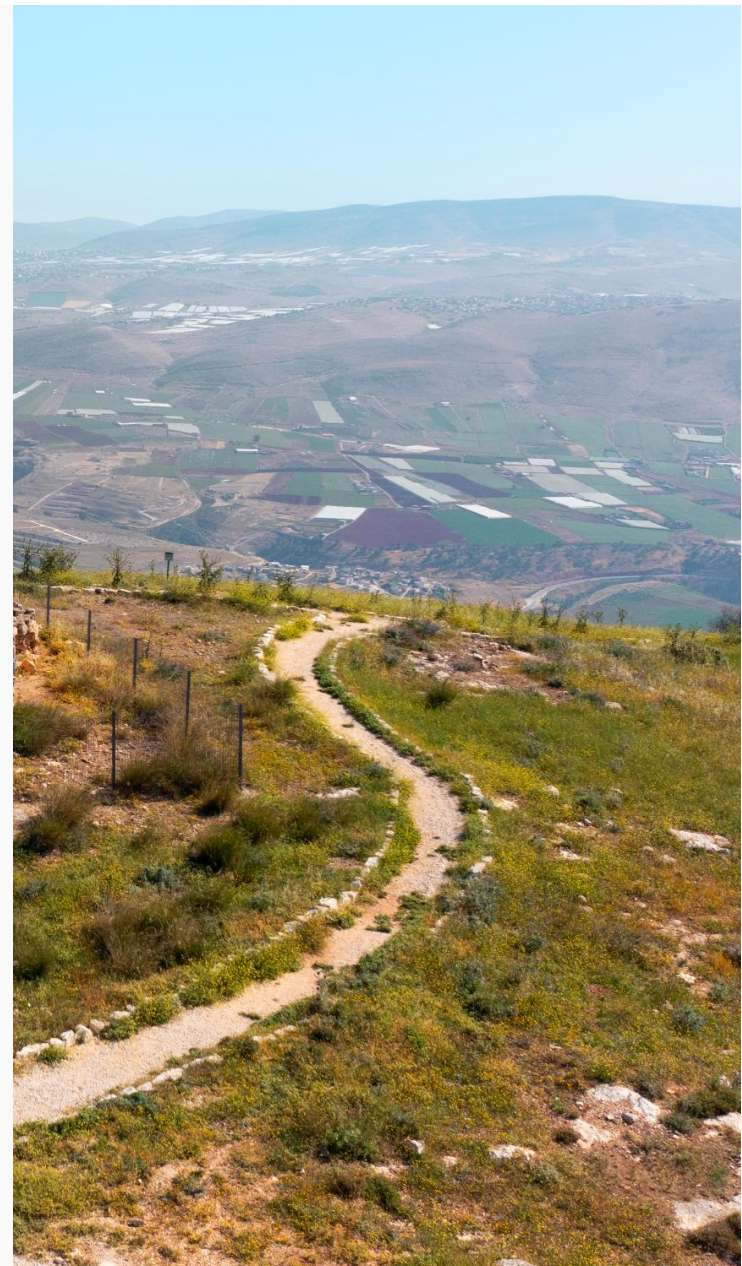
しかし、私があなたの耳と、すべての民の耳に語ろうとするこのことばを聞きなさい。

昔から、私と、あなたの先に出た預言者たちは、多くの地域と大きな王国について、戦いとわざわいと疫病を預言した*。

平安を預言する預言者*については、その預言者のことばが成就して初めて、本当に【主】が遣わされた預言者だ、と知られるのだ」

＊南北時代の歴代の預言者は、裁きを宣告

＊罪と裁きの時代に平和を告げる ➡偽預言者

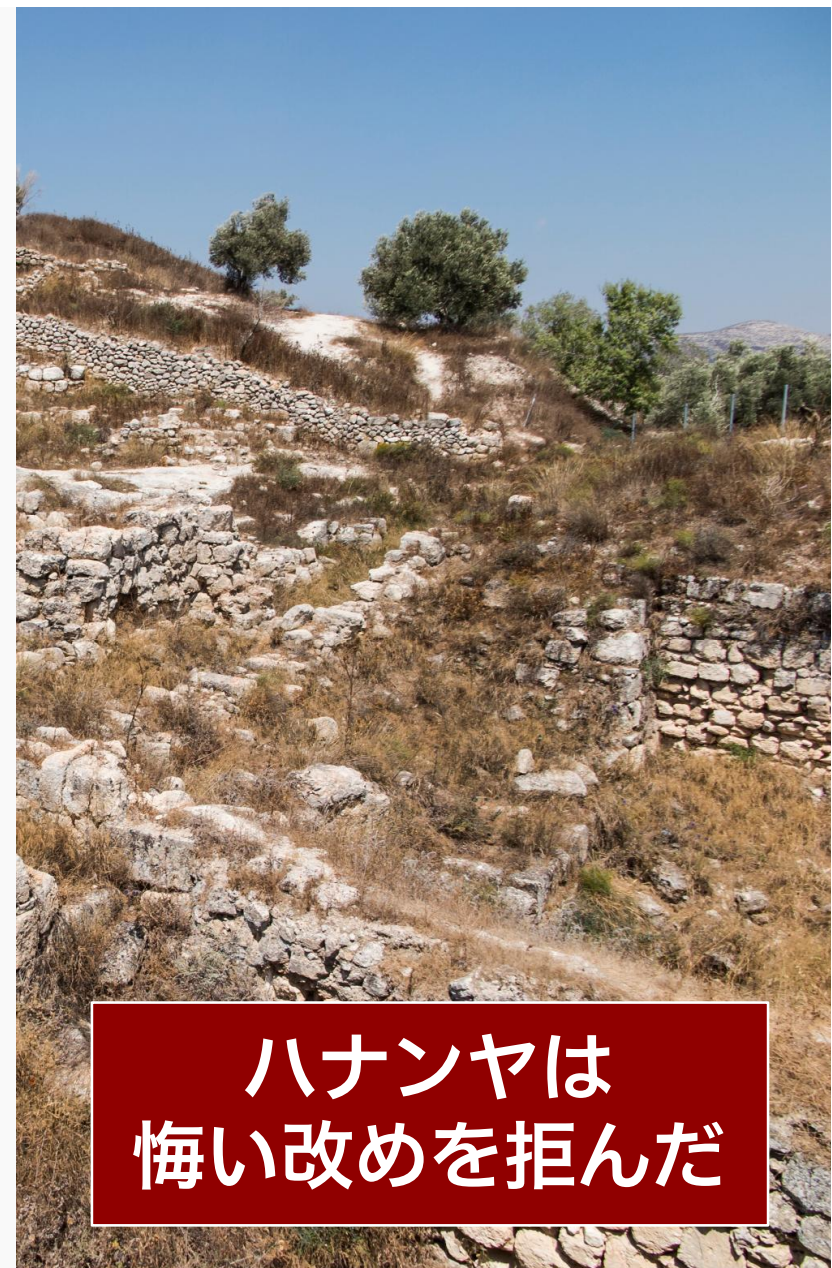


偽預言 偽りの上塗り エレ28:10～11

しかし預言者ハナンヤは、預言者エレミヤの首から例のかせを取り、それを砕いた。

そしてハナンヤは、民全体の前でこう言った。「【主】はこう言われる。このとおり、わたしは二年のうちに、バビロンの王ネブカドネツアルのくびきを、すべての国々の首から砕く。」そこで、預言者エレミヤは立ち去った。

- 主の御告げを拒絶し、偽りを重ねた
 - ➡ 主への明確な背信・反逆



ハナンヤは
悔い改めを拒んだ



Ⅱ. ハナンヤの死

エレミヤ書28章12～17節

ユダの荒野

御告げ

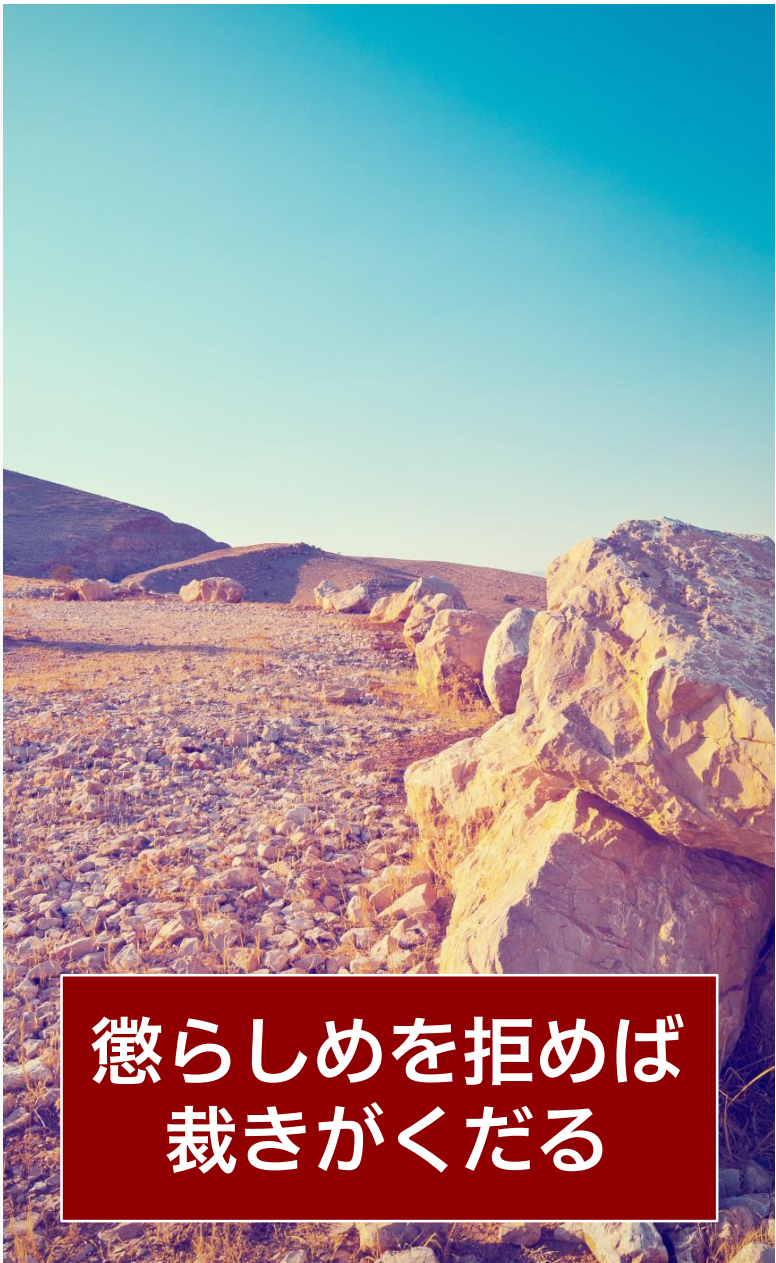
ハナンヤへ エレ28:12~13

預言者ハナンヤが預言者エレミヤの首から
かせを取って砕いた後、エレミヤに次のよう
な【主】のことばがあった。

「行って、ハナンヤに次のように言え。

『【主】はこう言われる。あなたは木のかせ
を砕いたが、その代わりに、**鉄のかせ**を作る
ことになる。』」

■ 主の裁きの警告を拒んだハナンヤには、
さらに厳しい主の裁きが下ることに!!



懲らしめを拒めば
裁きがくだる

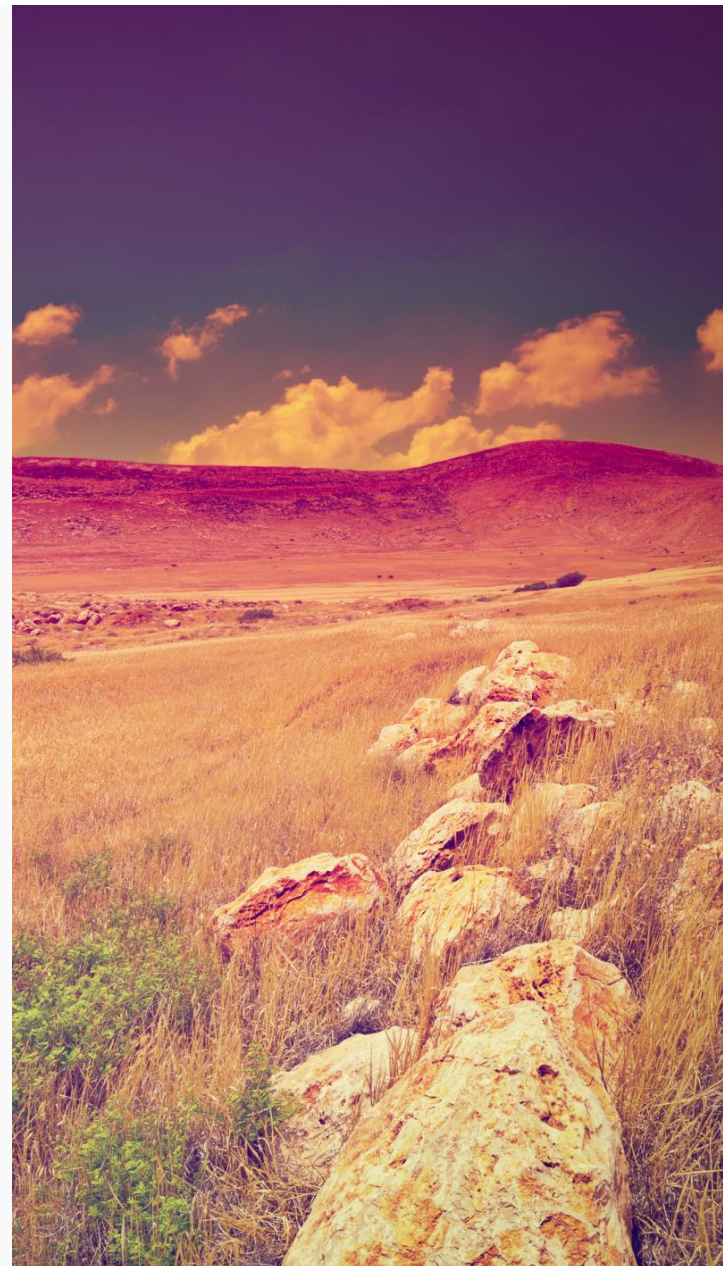
御告げ

鉄のくびき エレ28:14

『まことに、イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。わたしは**鉄のくびき***をこれらすべての国の首にはめて、バビロンの王ネブカドネツアルに仕えさせる。彼らは彼に仕える。野の生き物まで、わたしは彼に与えた*』

*バビロニアによる徹底した支配を意味

■ ハナンヤと、イスラエルの民同様、
主の懲らしめを拒んだ諸国にも、
さらに厳しい裁き*がくだされることに!!



御告げ

ハナンヤの罪 エレ28:15

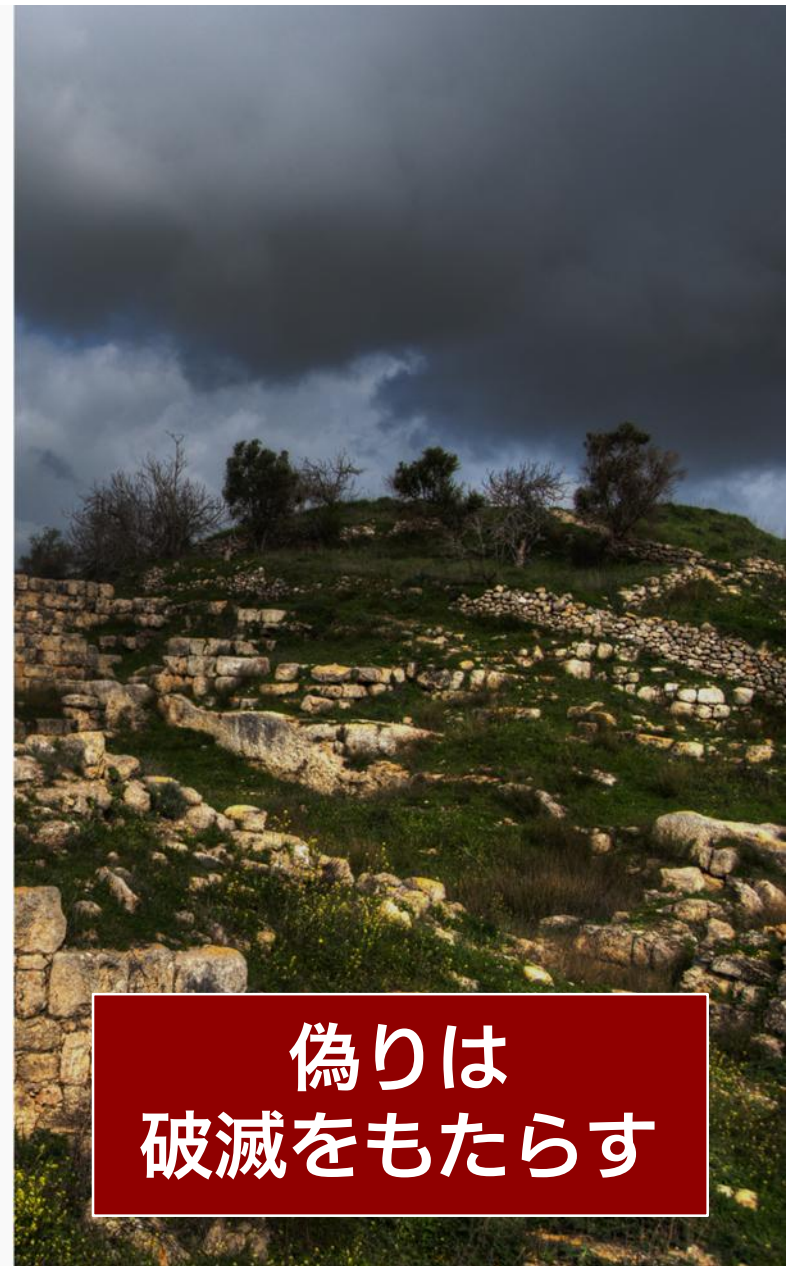
そこで預言者エレミヤは、預言者ハナンヤに言った。「ハナンヤ、聞きなさい。【主】はあなたを遣わされていない。あなたはこの民を偽りに拠り頼ませた*。」

*偽預言者ハナンヤの罪

➡罪とは、主以外のものに依り頼むこと

➡信仰とは、主の御心と一致すること

■ 自分の願望や思いにすぎないことを、主の御心と言ってしまえば、大変な罪。



偽りは
破滅をもたらす

御告げ ハナンヤの死 エレ28:16～17

それゆえ、【主】はこう言われる。見よ、わたしはあなたを地の面から追い出す*。今年、あなたは死ぬ。【主】への反逆*をそそのかしたからだ」

預言者ハナンヤは、その年の第七の月*に死んだ。

*よみに落とされ、最後は永遠の滅びに。

*御告げの拒絶は、主の反逆

*主を拒絶した偽預言の2ヶ月後。





Ⅲ. 偽預言者の末路

エフライムの山地

「見よ。わたしは**偽りの夢を預言する者**たちの敵となる——
【主】のことば——。彼らは、偽りと自慢話をわたしの民に
語って迷わせている。わたしは彼らを遣わさず、彼らに命じも
しなかった。彼らは、この民にとって何の役にも立たない。
エレミヤ23:32」

「それゆえ、見よ、わたしは**あなたがた**を全く忘れ、**あなたが**
たとあなたがたの先祖に与えたこの都を、**あなたがた**とともに、
わたしの前から捨てて、**永遠の恥辱**、忘れられることのない
永遠の侮辱をあなたがたに与える。エレミヤ23:39～40」

偽預言者の末路は、主に捨てられる 永遠の恥辱

旧約

偽りや欺きに苦しんだ ダビデの確信

「詩5:6 あなたは**偽り**を言う者どもを滅ぼされます。【主】は人の血を流す者や**欺く者**を忌み嫌われます。

5:9 彼らの口には**真実がなく** 心にあるのは破壊です。彼らの喉は開いた墓。彼らはその舌でへつらうのです。

5:10 神よ彼らに責めを負わせてください。彼らが**自分のはかりごと**で倒れますように。その多くの背きのゆえに彼らを追い散らしてください。あなたに逆らっているからです。

5:12 【主】よ まことにあなたは正しい者を祝福し 大盾のようにいつくしみでおおってください。」

偽り、欺く者は 主に忌み嫌われ、自滅に至る

「Ⅱ ペテ2:1 しかし、御民の中には**偽預言者**も出ました。同じように、あなたがたの中にも**偽教師**が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

2:2 また、多くの者が彼らの放縦に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることになります。

2:3 彼らは貪欲で、うまくこしらえた話でああなたがたを食べ物にします。彼らに対する**さばき**は昔から怠りなく行われていて、彼らの**滅び**が遅くなることはありません。」

新約

偽りによって 滅びに至った者たち

■ メシアを拒んだ偽善者・パリサイ人、律法学者たち
…紀元70年。ローマのエルサレム陥落。徹底的破壊。

■ 裏切り者のユダ
…使徒たちすら欺き、最後まで主イエスにチャンスを与えられながら、悔い改めを拒絶して、自滅。

■ アナニアとサツピラ
…主の教会への献げ物を偽り、使徒ペテロの前で絶命。

「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた。そこには獣も**偽預言者***もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける。黙示録20:10」

＊究極の**偽預言者**は、悪魔、獣(反キリスト)と一体。

大艱難時代、獣(反キリスト)を拝むよう人々を惑わす。

■メシアがよみに生きたまま投げ込み、永遠の苦しみに。

偽預言者は、永遠の滅びに至る



IV. まとめと適用

聖霊の助けによって歩む信仰の道

エフライムの山地

まとめ

ハナンヤの罪

- 主の御名によって、**偽預言・偽りの解放**を告げた
 - ➡ “捕囚の民は皆、2年で解放される”
- “同胞が苦しみから解放されて欲しい”と願った？！
 - ➡ 悔い改めの促しもなく、願望だけ。**極めて利己的**
- 主が与えられた**悔い改めの機会を無為に!!**
 - ➡ 神の民イスラエルを滅びに導いた

まとめ

悔い改めなかった ハナンヤ

■首にかせをはめ、エルサレムで御告げをしたエレミヤ
→命がけで警告し、民と指導者に悔い改めを促した

■ハナンヤは、改めて、公の場で偽預言を宣言
→主の悔い改めの促しを完全に拒絶

■エレミヤは、ハナンヤの偽預言を明確に指摘
→ハナンヤは再度拒絶、かせをくだいた

ハナンヤは、悔い改めを拒み、主への反逆を貫いた

まとめ

ハナンヤがもたらした結果

- 「鉄のかせ」・さらに厳しい裁きをエルサレムに招いた。
- 「主はあなたを遣わされていない」…主から明確に拒絶
- 「今年あなたは死ぬ」 …死の宣告・主からの断絶
 - ➡ハナンヤは、二ヶ月もたたないうちに死んだ

偽預言者ハナンヤは、主に裁かれて死んだ

まとめ

罪と裁きの原則

■ イスラエルの苦難ときよめ 敵対者の裁き イザヤ1:24～28

「それゆえ一万軍の【主】、イスラエルの力強き者である主のことば—ああ、わたしは逆らう者に思いを晴らし、わたしの敵に復讐する。

わたしは、わが手をおまえに対して向け、おまえの金かすを灰汁のように溶かし、その浮きかすをみな除く。

こうして、おまえをさばく者たちを以前のよう、おまえに助言する者たちを最初のようにする。その後に、おまえは正義の町、忠実な都と呼ばれる。」

シオンは公正によって贖われ、その町の立ち返る者は義によって贖われる。

背く者と罪人はともに破滅し、【主】を捨てる者は消え失せる。」

まとめ

罪と裁きの原則

「シオンは公正によって贖われ、その町の立ち返る者は 義によって贖われる。 背く者と罪人はともに破滅し、主を捨てる者は消え失せる。イザヤ1:27～28」

■イスラエルの苦難ときよめ イザヤ1:24～28

- ①イスラエルは、試練を経てきよめられる。
- ②主は、敵に復讐し、イスラエルを救われる。
- ③イスラエルの信仰が回復される。
- ④エルサレムを永遠に主が公正に統治される。
- ⑤罪人は地上から取り去られ、永遠の滅びに。

悔い改めて永遠の命か

拒絶して永遠の滅びか

「もし私たちが自分の罪を告白するなら*、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。Ⅰヨハネ1:9」

＊「公に言い表すなら(新共)」…公の宣言

■福音を信じて救われる、救いの大前提が認罪。

救い主の登場前に、ヨハネが悔い改めを促したように。

■クリスチャンの犯す罪も、悔い改めて赦される。

➡悔い改められるのが、クリスチャン

悔い改められるのは、聖霊の内住があるからこそ!!

「**神の御霊**によって語る者はだれも「イエスは、のろわれよ」と言うことはなく、また、**聖霊**によるのでなければ、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。

Ⅰ コリ 12:3」

■ 救いにも、信仰の成長にも、必須なのが**聖霊**の助け。

聖霊に助けられ、悔い改めて立ち返らされる

「あなたがたは、自分が神の宮であり、**神の御霊**が自分のうちに住んでおられることを知らないのですか。

Ⅰコリント3:16」

- **聖霊**の助けがあつてこそ、罪を認め、福音を信じることができる。
- 福音を信じた者の内には、**聖霊**が住まわれている。
- **聖霊**の内住がある者は、罪を悔い改めることができる。

悔い改められることが、何よりの救いの証明

■ 世の終わりの世界 マタ24:10～13

「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、**偽預言者**が大勢現れて、多くの人を惑わします。不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。」

■ 滅びに向かう世界は、人の努力ではよくならない。

例) 現代の偽預言・新使徒運動。七つの山の制覇。

人を救い、世界を回復されるのは、栄光の主イエスのみ

★ 聖霊の助けによって歩む信仰の道 ★

- 罪の結果は死・神との断絶。偽りは滅びを招く悪。
罪は罪として指摘すべき。激しく拒絶されようとも。
- 罪を認める者を聖霊が助け、信仰の告白に導かれる。
聖霊が悔い改めを促し、信仰者を成長させられていく。
- 悔い改めは、信仰の証し。立ち返りは、信仰者の特権。

悔い改めつつ、御心に適う信仰の道を歩んでいこう

てん　とう　わたし　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし　かみ　みこ　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

すく　みちび　せいれい　わたし　うち　す
救いに導いてくださったご聖霊が、私の内に住まわれています。

わたし　つみ　おか　みたま　たす　く　あらた
私たちは罪を犯しますが、御霊の助けによって悔い改めます。

えいこう　しゅ　にすがた　わたし　か　せいちょう
栄光の主イエスの似姿として、私たちを変え、成長させてください。

みたま　み　うち　ふくいんせんきょう　わたし　つか
御霊の満たしの内に、福音宣教へと私たちを遣わしてください。

しゅ　な　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」